学校番号	T1202

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『新編　言語文化　改訂版』　（大修館書店）						
副教材等	プリント教材等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は、日本語のおもしろさを深く知るとともに、さまざまな言語表現に触れ、読書に親しみ、言葉の力を高めることを目標としています。言葉についての文章や、小説、詩歌、古文、漢文等を読み、言葉を使って考え、共感し合い、伝え合う力を伸ばしていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとするとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本語の豊かさを味わう ［教材］ p.10 言葉の森を育てよう p.15 季節の言葉と出会う 漢字学習教材	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 c：言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート
	日本語の表記 ［教材］ p.20 漢字と仮名の使い分け p.25 日本語の豊かさ、再発見	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c：日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増やそうとしている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート
	小説：人物の心情と場面の展開 ［教材］ p.38 とんかつ	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b［ 読 ］：文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 c：登場人物や語り手、場面の変化、心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート
	日本文化の特色を考える ［教材］ p.66 足し算の文化	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 c：日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート
	詩歌を味わい、詩歌を作る ［教材］ p.137 詩歌の調べ	a：詩歌に親しみ、理解するために必要な文語のきまりや訓読のきまり、詩歌の形式、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 書 ］：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。 c：四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	考査	考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート

前期	小説：心情変化と情景描写 ［教材］ p.82 羅生門 『今昔物語集』巻第二九第一八	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b［ 読 ］：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：作品に興味をもち、小説の構成や登場人物の心情の変化をとらえようとしている。元になった古典作品との比較に興味をもっている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート
後期	古文：古文の言葉と仮名遣い ［教材］ p.152 古文への招待 いろは歌 いろはカルタの世界 古文冒頭選 P156 古文の言葉と仮名遣い	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 b［ 読 ］：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート
	古文：説話を読む ［教材］ p.158 児のそら寝 p.164 阿蘇の史、盗人にあひてのがるること	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：古文を読むことに興味をもち、積極的に読みに慣れようとし、事件の展開や登場人物の行動を読み取ろうとしている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート
	古文：随筆を楽しむ ［教材］ p.176 徒然草 p.184 枕草子	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：作品に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	考査	考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート
	漢文：訓読をしよう p.226 訓読のきまり／格言／再読文字	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	考査	考査	ワークシート 振り返りシート

後期	漢文:故事成語 p.238 守株 p.240 五十歩百歩	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	考査	パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間